

# タイカセサート大学 低学年派遣研修座談会



創造工学科1~2年生の11名が、8月17日(日)~8月24日(日)の約一週間、学術交流指定校である、カセサート大学(タイ・バンコク)で研修を行いました。その参加者のうち学生有志5名で座談会を行いました。 引率教員：大澤拓門 助教/聞き手：有馬隆司 准教授

2年1組：村上航琉	2年4組：松本雪希	1年4組：藤井千煌	1年1組：赤井叶望	1年5組：本多 命
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

今回のタイ・カセサート大学の低学年派遣研修に参加しようと思ったきっかけは何でしょうか。

村上：インターネット上の交流で、タイに日本人の友人がいて、タイのことをいろいろ聞いて面白そうだなと思っていました。そこでちやうどタイの海外研修という話を聞いて、これ何かの縁かなと思って応募しました。

松本：去年参加した友達から、「海外研修よかった」という話を色々聞いていたと、自分自身英語にあまり自信がなくて、モチベーションが下がって、異文化に触れるという面でも学びになるかなと思っていました。友達も参加するとのことだったので、参加してみようと思いました。

藤井：海外にも興味がありまして。高専専任来たのも、研修が他の高専よりも多いというのが理由で、このために来たので応募しました。

赤井：将来、海外で外国の人とも一緒に働くことになろうかなと思っていました。今のうちに語学学習や、人と関わるためのマナー、心持ちなどを勉強しておきたいと思って参加しました。

本多：元々海外に興味があったのですが、加えて姉と兄がずっと海外に行っていたことがあり、話を聞いて楽しそうだなと思っていました。この機会に海外へ行って知見を広めたいなと思ったのが、今回応募した理由です。

研修を振り返って印象に残っているのは？

村上：現地の人と英語で、訛りが強い人と弱い人がいて、大学の中だと結構英語で話していても通じなくて、大学の外のコンビニに行くと全然通じないみたいなのが、印象に残っています。

松本：文化交流、文化学習の時に、タイの学生と自分も一緒に、すごく緊張がほぐれました。微笑みの国と言われるだけあって、印象に残っています。研修の間、道に信号がなくて、車通りが凄くて、バイクも多々人乗りとかして、すごく怖かったです。その時に進んでいるのか、信号も流れなくて、街を歩くのもドキドキでした。

藤井：やはり物価ですね。本場に比べて食べ物やすずぎで1食200円とか150円とか全部お腹いっぱいになるくらい食入られちゃった。本場に比べて印象に残っています。

赤井：印象に残っているのは道路の道のりの違いです。北海道だからというのがあるんですけど、私たちが通った道も、タイは道路自体と車線数が多く平坦な道なんです。タイは道路自体と車線数が多く平坦な道なんです。タイは道路自体と車線数が多く平坦な道なんです。タイは道路自体と車線数が多く平坦な道なんです。

本多：先ほどもお話ししましたが、タイの方の英語の訛りがすごく驚きました。留学に行く前は現地の英語を一括りで覚えてきたんですけど、訛りの有無で全然変わるんだなというのが印象に残っています。あと



松本：部屋にドライヤーがなく、同室の後輩のをずっと借りっぱなしでした。あとは部屋にスリッパがないので、スリッパを持っていったら、部屋が快適で、飛行機でものびのびと過ごせるのでいいかなと思っていました。

本多：日程の最後で遺跡や高級に行つた時に、長スポンが必要だとこのことを忘れていました。現地は暑いので、不要と置いていたんですけど、あつた長スポンを買って羽目になり、それがとても高価でした。ちゃんと荷物チェックがなかったか、と思いました。

松本：キャリアケースの計量器を持ったら結構便利でした。空港で安心できます。

藤井：海外へ入るが多いので、腰にロゴのポーチを注文して持参しました。そのことがあって便利かもしれないですね。

今回の経験を今後のように活かしていきたいのですが、

村上：初めての海外で、大きな経験になりました。思っている以上に自分に足りないものが多いというところをちゃんと知れたのが良かったです。今後日本にも外国の方が増えてくると思うんですが、自分もそのように海外の方を安心させてあげられるようになるように、人と関わることを大事にしていきたいなと思っていました。海外を継続して、外国の方と対する場面に慣れて人脈を作れるきっかけにもなるといいですね。

本多：自分も海外の方と関わるような技術者になりたいと思っています。言語や文化の違いをちゃんと意識していかないと、強く感じました。

その他語りたい点

村上：親に飛行機の便が、1日1回の終わりに定時報告をしないと言われてました。確かにそういう大事だなと思います。こんな約束しておくと、親御さんも安心できると思います。

藤井：現地で友人とカラオケに行つたのですが、大きな部屋の4階に部屋があって、その部屋の壁が全部透明で、廊下にも音漏れが激しくて驚きました。

有馬：何語も歌ってましたか？



藤井：日本語です。日本語の歌もかなりあって、一緒に留学した友達と行ったので、日本語の曲ばかり歌ってました。現地の人にも「鬼滅の刃」の曲とか歌ってました。

有馬：英語、鬼滅の刃、歌ってました。結構日本文化が浸透しているみたいです。

松本：セブンイレブンのホットサンド美味いのでおすすめです。日本のセブンイレブンは違い、お店で焼けてくれます。あとこれは食べてないんですけど、お店の看板に「日本の寿司」と書いてあって本当かと思っちゃった。全然「寿司」じゃなくて、カラフルでした。カリフォルニアロールみたいなものや、中にキヌチが入っていたり(笑)。

本多：後半手持ちのお金が重なるのが微妙だったので、セブンイレブンのパンがすごく重宝しました。10パーズ、日本円で50円くらいで買えたので、あとはバイキングに寿司がなくて食べたらタイ米やちやうど寿司は日本の方がいいなと思っていました。

特に美味しかったものを一人ずつ教えてください。

村上：グリーンカレーが一番美味しかったです。日本を食べた物よりもちゃんとスパイスが効いて、本場の味って感じが良かったです。

松本：フルーツのスムージーです。値段がとても安いのにサイズが大きい。素材の味がして、研修中はずっとスムージーを飲んでいました。

藤井：南国のフルーツが一番印象に残っています。甘くて、本場のフルーツが、一番印象に残っています。

赤井：カオマンガイが一番美味しかったです。学食で1食150円くらいで食べられて、1日1日良かったです。

本多：特に印象に残っている食べ物はないんですけど、今まで一度も食べたことなかったんですけど、南国特有の植物という感じでも、とても美味しかったです。

は外国人慣れというか、日本だとコンビニに行くと海外の人が来るのと店員が対応に身構えるみたいな慣れを感じました。タイだと店員も海外の人ね、まあいいかな慣れを感じました。

有馬：交通事情とかマナーとか、風習とか人の付きかたの方が大きく違うところはありました。

松本：バイクのほかに、日本でいう電動キックボードみたいなものをブンブン乗り回している学生がいていて、こんなデブボードの道路をよく行けるなと思っていました。

村上：でも道路自体を一方通行にすることで、事故自体を減らすっていう解決方法が強引だけれど理にかなっていると思いましたが、

研修に参加して得たものや、何かちやうど変わったところ等、おもしろいなところはありましたか？

村上：現地での物理の授業を受けた時に微分の話が出て、その今までは若干理解できていなかったところが分かるようになってきました。物理の授業を英語で受けていて、今の公式とは別に、微分を使って速度を出す際に公式を導出している時、以前はわからなかったところだったので、不明だった部分が入ってきまして、

松本：村上さんの立派な話の後に言うのもなんなんなんですけど、翻訳アプリがあったら意外とどこでも行けるのと実感できました。最初、電車に乗るかなって不安だったんですけど、Google翻訳があったらどこでも行ける。タイ語訛りの英語も、タイ語でも、音声翻訳したら発音大丈夫でした。あまり怖くありません。

藤井：大学の周りを散歩したのが一番印象に残っています。タイの空気を感ぜられてとても良かったです。あとはすごく人慣れた野良犬がいて、楽しかったです。

本多：印象に残っているのはショッピングモールです。その中でも先ほど話があった化粧品のお店で、人生初めて化粧品のお店に行つたんですけど、たくさん種類があって、新鮮な気持ちで味わえました。あとは店員さんが優しく、気軽に試させてくれてとても面白かったです。

有馬：皆さん色々楽しんできたようですね。今の話を聞くと、割と面白い物とか近場が楽しかったっていうこと意見が多いんですけど、最終日の歴史遺産とかはどうでしたか。

藤井：大学の周りを散歩したのが一番印象に残っています。タイの空気を感ぜられてとても良かったです。あとはすごく人慣れた野良犬がいて、楽しかったです。

赤井：大学の周りを散歩したのが一番印象に残っています。タイの空気を感ぜられてとても良かったです。あとはすごく人慣れた野良犬がいて、楽しかったです。

本多：印象に残っているのはショッピングモールです。その中でも先ほど話があった化粧品のお店で、人生初めて化粧品のお店に行つたんですけど、たくさん種類があって、新鮮な気持ちで味わえました。あとは店員さんが優しく、気軽に試させてくれてとても面白かったです。

有馬：皆さん色々楽しんできたようですね。今の話を聞くと、割と面白い物とか近場が楽しかったっていうこと意見が多いんですけど、最終日の歴史遺産とかはどうでしたか。

藤井：大学の周りを散歩したのが一番印象に残っています。タイの空気を感ぜられてとても良かったです。あとはすごく人慣れた野良犬がいて、楽しかったです。

赤井：大学の周りを散歩したのが一番印象に残っています。タイの空気を感ぜられてとても良かったです。あとはすごく人慣れた野良犬がいて、楽しかったです。

本多：印象に残っているのはショッピングモールです。その中でも先ほど話があった化粧品のお店で、人生初めて化粧品のお店に行つたんですけど、たくさん種類があって、新鮮な気持ちで味わえました。あとは店員さんが優しく、気軽に試させてくれてとても面白かったです。

有馬：皆さん色々楽しんできたようですね。今の話を聞くと、割と面白い物とか近場が楽しかったっていうこと意見が多いんですけど、最終日の歴史遺産とかはどうでしたか。

藤井：大学の周りを散歩したのが一番印象に残っています。タイの空気を感ぜられてとても良かったです。あとはすごく人慣れた野良犬がいて、楽しかったです。

赤井：大学の周りを散歩したのが一番印象に残っています。タイの空気を感ぜられてとても良かったです。あとはすごく人慣れた野良犬がいて、楽しかったです。

本多：印象に残っているのはショッピングモールです。その中でも先ほど話があった化粧品のお店で、人生初めて化粧品のお店に行つたんですけど、たくさん種類があって、新鮮な気持ちで味わえました。あとは店員さんが優しく、気軽に試させてくれてとても面白かったです。

有馬：皆さん色々楽しんできたようですね。今の話を聞くと、割と面白い物とか近場が楽しかったっていうこと意見が多いんですけど、最終日の歴史遺産とかはどうでしたか。

色々な人に話しかけることができたので、これは良かったなと思っています。

藤井：別の文化の人とコミュニケーションをとっている中で、文化のベースが違うんだなと気づきました。それによって他の日本人と話すハードルが上がった気がします。話す時と聞いてる時と、ベースが違うかを考えると、スムーズにコミュニケーションがとれるようになります。

赤井：本場に英語が聞き取れるようになったっていう実感を得られました。タイに行く前DM英会話で勉強してたのですが、帰ってきてからDMの点数がすごく上がったっていう、びっくりするくらいです。

本多：あちらの大学生の方々と交流する場面があったんですけど、とてもポジティブな人が多くて、本当に圧倒されました。英語の語学学習については、行った前後DM英会話の点数は変わらなかったです。頑張っただけで聞き取れるようになっていたんですが、全然聞き取れないこともあり、今後英語に力を入れようと思っています。

いまだから言える失敗談。

松本：最初、日本とタイのレートが違うっていうのを重く捉えていなくて、先日本円をちやうど大きめに両替してしまい、それでいくらか損したっていうのが結構大きな後悔でした。

赤井：タイで下水処理の処理にダメージなんですけど、流しちゃったから、水を引けようと思っていました。多めに使ってもまあ大丈夫かって調子に乗っていたら、最終日目前になって、手持ちのお金が微妙になるという事態が発生しました。お金の利用は計画的にしようかなって思いました。

有馬：皆さんお金で苦労されたようですね。

本多：日程の最後の方でお土産買おうと思つた店が、キッシュ・ジュレ・ソーリーで、ええこれどうしよう、となりました。海外旅行の際のキッシュ・ジュレ・ソーリー対応っていいんじゃないかなって。デビットカードで結構色々な国に対応しているから、海外であつたらいいかなって思いました。

藤井：留学に行くかどうかわかんないなら、早く楽しんで行つた方がいいと思います。ありきたりですが、ちやうど一番の助言だと思います。

赤井：自由時間が結構あるんですけど、そういう時は友達と色々な所に行きたいと思つています。雨が降っても雨も関係ありません。ピンヤン・マヤになりながら遊んだらいいと思います。

本多：外出の際に一度スクールにあつたんですけど、ちゃんと雨具系のグッズは持参して行つたほうがいいです。特に靴は海外行くとしたら1足しかないから、乾燥系のグッズを持参して行つたほうがいいかなって思いました。

村上：今、パーツ高なので、来年参加の人はもっと気をつけてほしいです。

有馬：これを持ってればよかったなみたいなのとかありませんか。



## 先生方から感想

有馬：皆さんの話を聞いていて、すごくいい経験をしたということを感じました。羨ましいなと思います。特に印象に残ったのは、コミュニケーションに対する捉え方が皆さん大きく変わったようなことを色々言われていたことです。これは今後とても役に立つことで、英語に対する苦手意識とか言語の壁とかについて、意識がガラッと変わったと思います。これから皆さんが高専内でも社会に出て、外国人に限らず様々な人に会う時に絶対必要になる意識であり、今までの考え方の転換になりますので、ぜひ今回の経験を生かしてってください。

大澤：皆さんお疲れ様でした。長い研修でしたが、研修を最初から通して見ていて、コミュニケーションの取り方がとても成長したなと感じました。初日は、現地の学生さんがご飯に誘ってくれたりして、ちょっとまだ慣れていない人もいるかなと思っていましたが、最終日の方になると「先生、僕たちからカラオケ行きますけど、先生もどうですか!」といった感じで、現地の学生と仲良くなっていて凄いなあ、と。あとはさっさとお金の話とかもありましたけど、皆さん自分の力でなんとか解決して、こういう経験は皆さんの今後の人生を豊かにしてくれるかと思っています。今回の研修で得たものを、大切に忘れないようにして、高専生活だけでなく、今後の人生に生かしてもらえばいいですね。